

## 金曜日の会 報告

1 期 日 10月16日 19:00~21:00

2 場 所 倉敷労働会館

3 参加者 O、AK、YO

4 内 容

『海の命』記録・映像 YO

『注文の多い料理店』映像 AK

○『注文の多い料理店』では、「よぼうか、よぼう。おい、」の大変化に着目しました。それまでは、注文を戸に書いていたのに、ここでは、直接声をかけています。もし紳士たちが入って来なかったら、『ぼくらの責任』になり、ものすごい仕打ちを受けることになります。ここでは、どうしても入れないといけない状況があり、ぼくらにとっての最終手段が「おい、」ということになります。また、『頭を痛める』と『心を痛める』の違いについても、考えました。紳士が苦心するほどの理由は、何なのか？更に、『声もなく』泣いたの部分は、声を出さなかったのか出せなかったのか？紳士が最後のプライドを保つために、出さなかったという解釈に驚かされました。

○『海の命』では、17段落の「なっていた」をもっと早く押さえる必要がありました。これを図で表しながら、「ある日」との関係を考えなければなりません。また、「ある日」を「この日」に変えて使っている教師の姿も気になりました。最後に、教師の子どもたちに気づかせようという強い意志が大切であり、たとえ上手くいかなくても、子どもたちの発見による追求を目指すことが重要だと改めて感じました。文責YO